

# 社会人の自覚

## 1 社会人・ビジネスパーソンとしての自覚

### Point



社会を構成する一人として、私たちは社会のルールである法律をしっかりと守り、自立した生活者であることを自覚しなければいけません。その上で地域社会や所属する組織の一員としての責任と役割を果たすことが大切です。

### (1) 周囲の信頼を得るために

学生生活を終えて、社会に出さえすれば社会人になるということではありません。私たち一人ひとり、地域社会の一員であり、組織の一員でもあることを忘れることなく、果たすべき役割と責任を自覚して実際に行動に移すことが非常に重要です。社会にとって必要な存在であろうとする意思を強く持って、法律を基準とした地域社会でのルールを守りながら、所属している組織が社会に提供している商品やサービスを確実に送り出すことができるように取り組む行動力が不可欠になります。

自分さえよければ良いといった甘えの意識を捨てきれずに生活することで、周囲からの信頼を得られないような状態では、地域社会における生活者としても組織におけるビジネスパーソンとしても明らかに失格で、社会人としては認められない存在となってしまいます。

世の中の変化について速さや大きさをしっかりと把握し、自分を取り巻くさまざまな環境変化にも柔軟に対応していける力を継続的に発揮していくことも大切です。というのも、世の中の変化や時代の変化に合わせるかのように、社会のルールは次第に変わっていくことが頻繁に起こるからです。社会の変化に対応して変わっていく環境の中で、自分を見失うことなく社会の一員として貢献するための意欲と行動力とをもち続けることが社会人の自覚であるといえます。